



<先進地紹介2>

市民協働の“まちづくり”「街中がせせらぎ事業」(静岡県三島市)

○三島市の概要

三島市は、伊豆一の宮としての三嶋大社や伊豆の国府が置かれ、江戸時代には東海道五十三次に五大宿場として栄えた経緯をもち、富士山からの湧水にも恵まれていることから「水の都・三島」と詠われる歴史の古い市です。市内を流れる河川や水路に古くから親しまれているため、工場の公害防止等市民活動が古くから盛んな地域でもあります。

○「街中がせせらぎ事業」とは

中心市街地にある水辺や緑の自然空間や歴史・文化といったアメニティ資源を活用し、回遊するルートをネットワーク化することで、「せせらぎと緑あふれる庭園のような街をみんなで作ろう」をスローガンに魅力ある快適な空間を創り上げるものです。

この事業は市民の提唱から始まり、市民主導で企画され、計画策定時からの話し合いは400回を超えました。行政がハード事業、商工会議所がソフト事業、NPOが身近な環境改善を行い、市民ボランティアが里親等の清掃作業やガイドを行い、一般市民は緑化を行う、まさに官民一体型の協働事業です。

○どのような整備を行っているのか……

回遊ルートの中において、協働のまちづくりのシンボルとして源兵衛川その他の水路にプロムナード（散歩道）や水辺デッキを整備しました。また、三嶋大社周辺では、電線地中化や御影石の色彩ハンブ、土色を意識した脱色アスファルト等の整備を、玄関口となる駅（JR、私鉄）には意趣を凝らした模様替えを行い、各所には親水のための仕掛けや案内板の設置等を行っています。



【川の道（飛び石、木の道）】



【水辺デッキ】



【三嶋大社周辺】



【案内システム整備】



○市民協働のつながり……

商工会議所が事務局となりソフト事業、NPOが身近な環境改善を行い、市民ボランティアが里親等の清掃作業やガイドを行っています。

市民などへの委員会の召集やイベントなどの通知は、商工会議所が発送し、民間の事務局機能を果たしています。

また、商工会議所青年部では、JRと協力して、ウォーキングイベントを開催しています。これは、せせらぎ事業のキャンペーンを行うとともに、その中でアンケート調査を行うことで、回遊ルートの評価や事業効果の予測に役立てています。参加者は2,500~3,000人に上り、イベントとしての定着も果たしています。

一方では、整備が終了した道路や河川の維持管理は、地元住民が清掃活動などで自主的に取り組むようになってきています。

回遊ルートでは、ボランティアガイドにより温かみのある案内を受けることができます。

こういった背景には、計画策定の当初から市民が参画したことで、押し付けられたのではなく、自分たちの“まち”のために自ら考え行動するという自覚が生まれていることがあるようです。



【街の水の仕掛け事業】

※人形の衣装はボランティアの手づくり

○受賞暦

平成17年度都市景観大賞

「美しいまちなみ大賞」（国交省他）

平成17年度国土交通大臣表彰

「手づくりふるさと郷土賞」（国交省）

平成18年度 第14回優秀観光地づくり賞

「金賞総務大臣賞」（日本観光協会）

など

（茨城県都市計画課 市街地計画G 鈴木 滋）